２０２６年１１月１６日

News Release

いい出会い ふくらむ未来 百十四銀行

巴ライジング株式会社様に対する『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』第 2 回モニタリングの実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2024 年 9 月 24 日（火）に実行した水島支店取引先 巴ライジング株式会社（岡山県倉敷市 代表取締役 重田 真純）向け『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス (※1)』に対し、2 回目のモニタリングを実施しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおけるモニタリングでは、融資実行時に発行したポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書に掲げる、お客さまのマテリアリティ（重要課題）を解決するための取組方針と、その達成度合いを測定する KPI（重要目標達成指標）に対し、進捗状況の確認と、KPI 達成に向けた各種支援を実施します。本件モニタリングを通じて、お客さまのサステナブル経営を一層推進します。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1） お客さまの企業活動が経済・社会・環境にもたらすインパクトを包括的に評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取組みを支援する融資。当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制については、株式会社格付投資情報センターより、国連環境計画・金融イニシアティブ『UNEP FI』が制定したポジティブ・インパクト・ファイナンス原則に適合している旨のセカンドオピニオンを取得している。

記

■企業の概要

会 社 名　巴ライジング株式会社
所 在 地　岡山県倉敷市東塚 6 丁目 11-14
業　　種　プラント工事業

【サステナブルな取組み】

当社は、1971 年の設立以来、各種大規模プラントの配管・鉄骨工事の設計・施工・メンテナンスを手がけています。特に配管三次元の CAD の技術においては、国内でも業界に先駆けてそのシステムの構築と実用化を達成し、プラントの基本設計から工事まで一貫して対応できるよう様々なノウハウを積み上げています。近年は火力発電所の CO_2 回収装置の設置・改修や集塵設備の施工等、発電所・プラントの環境対策に関わる工事を多く手がけ、日本の産業界における脱炭素や大気汚染の防止等に貢献しています。また、日本ではプラント設備の老朽化が進むなかで、当社の技術・ノウハウで国内産業への影響を低減しています。現場の施工能力についても海外での経験を積んだ豊富な人材を有しており、熟練技術者によるノウハウ伝承や最新設備の導入により、耐久性の高いプラントづくりを実現しています。

複雑化・多様化するプラント工事へのニーズに対処し、常に変化する国内産業の土台を支え続けられるよう、社員や地域の皆様とともに成長していきます。

※巴ライジング株式会社の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス第 2 回モニタリング報告書」については、別紙をご参照ください。

以　上

株式会社　百十四銀行　高松市亀井町5番地の1　TEL 087-831-0114（大代表）

巴ライジング株式会社

ポジティブインパクトファイナンス

第2回モニタリング報告書



２０２６年１１月１６日

いい出会い ふくらむ未来
百十四銀行

目次

1．巴ライジング株式会社の企業概要 3

2．目標達成に向けた進捗状況 4

3．総評..... 5

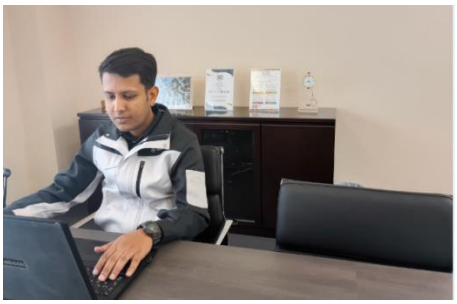
１．巴ライジング株式会社の企業概要

企業名	巴ライジング株式会社
設立	1971年 2月
代表者名	代表取締役 重田 真純
資本金	4,125万円
従業員	86名（2026年5月31日時点）
売上高	3,316百万円（2026年5月期）
事業拠点	・本社 〒712-8044 岡山県倉敷市東塚6丁目11-14 ・横浜事務所 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3丁目30-4 明治安田生命横浜西口ビル8F ・玉島工場 〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8252-4 ・松江工場 〒712-8052 岡山県倉敷市松江3丁目9-22 ・東塚工場 〒712-8044 岡山県倉敷市東塚7丁目14-6 ・横浜作業所 〒224-0025 神奈川県横浜市都筑区早渕1丁目24-11 ・中国電力 水島出張所 〒712-8054 岡山県倉敷市潮通1丁目1番地 中国電力㈱水島発電所構内 ・ENEOS水島出張所（A工場） 〒712-8071 岡山県倉敷市水島海岸通4 ENEOS㈱水島製油所A工場構内 ・長崎出張所 〒857-4211 長崎県南松浦郡新上五島町有川郷558-1
事業内容	・各種プラント (発電・石油精製・石油化学等)の架構・ダクト・配管の製作及び現地据え付け工事 ・各種プラント(発電・石油精製・石油化学等)のメンテナンス工事 ・プラント配管の設計
各種認可	建設業許可：岡山県知事認可 特定建設業：管工事・鋼構造物工事・機械器具設置工事・とび・土工工事・塗装工事 [認定工場] 電気事業法(改正前)第52条による溶接方法の認定（経済産業大臣認定） ガス事業法第8条による溶接方法の認定（経済産業大臣認定）

2. 目標達成に向けた進捗状況

項目	内容
インパクト	環境的側面においてPIを拡大 社会的側面においてPIを拡大
内容・対応方針	カーボンニュートラル関連プラント(回収CO_2と水素を原料とする合成燃料「e-fuel」生成プラント、EV用リチウムイオン電池の原料製造プラント、SAF製造プラント等)の施工件数増強
KPI	2025/5期～2030/5期のカーボンニュートラル関連プラント施工件数をのべ5件とする（2026/5期までの累計実績:1件）
KPIの進捗状況	2026/5期：1件 ・2026/5期は、㈱クレハのフッ化ビニリデン樹脂(PVDF)生産増強に向けた、いわき事業所の生産設備増強工事におけるプラント配管の工事を受注。 ・今後のENEOSの配管工事受注や、世界的な自動車電動化に伴うリチウムイオン2次電池市場の拡大により、バインダーとして使用されるPVDF増強設備のプラント関連工事の増加が見込まれており、本KPIの順調な実績計上が見込まれる。 ・現在は、北海道のCCS（二酸化炭素を地下の岩盤に閉じ込める工事）の受注獲得に向けて動いている。

項目	内容
インパクト	経済的側面においてPIを拡大
内容・対応方針	プレハブ化（自社工場で事前に組立・形成し、現場での工程数削減と精度の向上を図る）による工事の高品質・効率化の推進
KPI	2030/5期までプレハブ率（自社工場で事前に組立・形成した設備・配管数の割合）を80%まで向上する。（2025/5期:0%）
KPIの進捗状況	・2026/5期は、漁場再生に向けた人工魚礁の製造案件を玉島工場で内作し、プレハブ率100%を達成。 実績…93基を玉島工場で内作（※資料添付あり） ※人工魚礁は、海を守るために進めているプロジェクト（JFシェルナース） ・環境保全に資する案件として今後も継続的な受注により、本KPIの達成が期待される。  

項目	内容
インパクト	社会的側面においてPIを拡大及びNIを緩和
内容・対応方針	有給休暇の取得がしやすい社内体制を整え、ワークライフバランスを推進する 健康診断の二次健診受診を指導し、従業員の健康意識を高める 女性・外国人社員の積極的な採用と登用
KPI	2030/5期までに有給休暇取得率を70%にする（2025/5期:64.8%） 2030/5期までに健康診断二次健診受診率を70%にする（2025/5期:72.7%） 2030/5期までに女性管理職を2名以上就任させる（2025/5期:1名） 2030/5期までに外国人正社員数を3名以上にする（2025/5期:1名）
KPIの進捗状況	2026/5期実績 有給休暇取得率　69.3% 健康診断二次健診受診率　75.0% 女性管理職　1名　…「管理職」は課長以上の者を指す。 外国人正社員数　1名 ・休暇関連担当者を任命し、積極的な声かけを実施。順調に取得率向上。 ・健康診断実施病院の「健康経営サポート」を利用し、保健指導員と協働で二次健診受診対象者のフォローを強化し目標達成。 ・2026/5期は1名の女性管理職を任命。 今後も管理職人材の育成を進め、早期目標達成をめざす。 ・2026/5期は1名の外国人（ネパール人）を正社員として採用。 現場監督として活躍しており、当該社員を中心に今後も外国人材の育成を図る。 

3．総評

昨年に引き続き、一部目標では早期達成及び早期達成見込みとなっており、インパクトへの取組みは全体的に積極的に推進されている。

環境面・社会面・経済面においてポジティブインパクトを拡大させる取組みとして、カーボンニュートラル関連プラント施工件数は累計1件と着実に取組みが進んでいる。世界的な自動車電動化の潮流によりリチウムイオン電池市場の拡大が続いており、PVDF製造プラントの新設・増強工事の需要増が見込まれることから、引き続き目標達成に向けた受注活動を展開している。また、工事の高品質・効率化を目的としたプレハブ化については、玉島工場内での人工魚礁93基の製作を主因として、100%を達成。

社会面においてポジティブインパクトを拡大、ネガティブインパクトを緩和する取組みも着実に成果を上げている。有給休暇取得率は69.3%と目標70%まであと一歩に迫っており、休暇関連担当者による積極的な働きかけが実を

結んでいる。健康診断二次健診受診率については、健診実施病院との連携を強化し、健康経営サポートを積極的に活用することで、保健指導員と一体となったフォロー体制を構築した。健診後に要精密検査と判定された方に対して、保健指導員による個別の声かけや受診勧奨を丁寧に行うことで、二次健診への円滑な誘導を実現した。女性管理職の登用及び外国人の正社員採用はそれぞれ1名となっており、多様な人材の活躍推進に向けた取組みが継続されている。

百十四銀行としても、受注工事の増加に伴う資金需要が生じた際には機動的な資金支援を行うとともに、女性管理職候補向けの勉強会・セミナー・情報交換会等を通じた情報提供や、外国人定着支援サービスの提案など、当社の取組みを多角的にサポートしていく。